

公表	事業所における自己評価結果(児童発達支援)
----	-----------------------

事業所名	ごーでんえっく八軒	公表日	2025年 3 月 31日
------	-----------	-----	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		十分な対応ができるように職員数を確保しています。	安定した職員数の確保を継続します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スケジュールカードや療育内容を目で見えわかるような形にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		事前準備や掃除、除菌をするようにしています。感染症対策を継続しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			年1回自己評価を実施し、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや日頃の会話の中で、個々の職員の意見を尊重し、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年1回社内監査を実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修会への参加、社内研修を実施しています。	市内で行われる学習会や子ども部会に参加しています。社内研修は適宜行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			R7.3 ホームページに掲載しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		情報共有をするようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画内容の周知、徹底、改善をしながら支援を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人で統一したアセスメントシートを用いて継続性のある支援を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			職員間で意見やアイデアを出し合い、活動内容の見直しを適宜行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			状況に応じて随時、内容の見直しを行い、柔軟性のある支援を意識しています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		状態を把握しながら、個別と集団を組み合わせ、活動しています。	個別と集団の活動バランスを大切にしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		通所児童を確認し、活動内容を検討している。職員間の役割分担も併せて行っています。	振返り、引継ぎ事項の確認、当日の通所児童の確認、活動内容の確認、送迎など役割分担の確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎等で不在の職員もいる場合もあるが、振り返りや共有をするようにしています。	職員専用のSNSツールを使い全員が把握できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			主に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携しながら支援を行っています。	必要な情報を関係者と共有し、より良いサービス提供ができるように体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		1年を通して必要に応じて個別に対応しています。その際に、具体的な支援内容などを共有しあい、理解を深め合うようにしています。	今後も個別に合わせて対応していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援事業所を通して情報共有をしたり、保護者へ直接聞き取りをしています。	今後も個別に合わせて対応していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後は関係機関と相談しながら進めます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者と情報共有を密にして、共通理解を図るようにしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談に合わせて適宜対応しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っています。	その他問い合わせがあった時には、主に管理者が対応しています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談に合わせて適宜対応しています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母会は未実施。	今後は要望に応じて検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	相談に合わせて適宜対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		個人情報に配慮した内容にして発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	職員全員に個人情報についての誓約書を取り、漏洩がないように管理しています。	継続し、管理を徹底していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	必要に合わせたツールを作成し、円滑に疎通できるようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		各マニュアルを策定し職員間で共有し、保護者に共有しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的に避難訓練を実施していますが、保護者への周知や報告不足さが感じられます。	令和6年6月、10月に火災・地震避難訓練を実施し、避難場所の確認を行っています。保護者への周知、報告不足をSNSや送迎時に伝えるなど改善策を検討していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	アレルギーの有無を確認し、職員間で共有しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		虐待防止に関する研修会に参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	契約書にて説明を行い、了承を得ています。個別支援計画書には記載していません。		